

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2000-341680 (P2000-341680A)

【公開日】平成 12 年 12 月 8 日 (2000.12.8)

【出願番号】特願 2000-67090 (P2000-67090)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 E

H 0 4 M 11/00 3 0 1

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/232 B

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 N 7/173 6 3 0

G 0 6 F 9/06 4 2 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カメラの撮像範囲を制御する制御手段を有する情報制御装置であって

、

所定のアクションを起動させるプログラムを記憶する記憶手段と、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得手段と、

該取得手段によって取得される情報に応じて前記記憶手段によって記憶されたプログラムを起動する制御手段とを具備することを特徴とする情報制御装置。

【請求項 2】 ユーザが前記カメラの制御権を有している状態であるかどうかを検出する検出手段を更に具備し、前記制御手段は、前記検出手段によってユーザが前記カメラの制御権を有していることが検出されている場合、前記記憶手段によって記憶されたプログラムを実行することを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 3】 ユーザが前記カメラの制御権を有している状態であるかどうかを検出する検出手段を更に具備し、前記記憶手段は、異なる複数のアクションを動作させるプログラムを記憶しており、前記制御手段は、ユーザが前記カメラの制御権を有している状態である場合に起動するアクションか、ユーザが前記カメラの制御権を有していない状態であっても起動するアクションかを判断して起動を行なうことを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 4】 前記記憶手段は、異なる複数のアクションを動作させるプログラムを記憶しており、前記制御手段は、起動中のプログラムが存在するときに、前記取得手段に

よって前記カメラの撮像範囲に変化が生じたことが検出された場合、該起動中のアクションの種類に応じてその動作を終了させるかもしくは継続させるかを判断して制御を行なうことを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 5】 前記記憶手段は、前記カメラの所定の撮像範囲に対応する文字情報の表示制御のアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 6】 前記記憶手段は、プリンタの設定又は操作を行なうためのアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 7】 前記記憶手段は、電子メールの送信を行なうためのアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の情報制御装置。

【請求項 8】 カメラによって撮像された画像を表示する表示手段を有する情報制御装置であって、

前記表示手段によって表示される画像とともに所定のウインドウを表示するアクションを動作させるプログラムを記憶する記憶手段と、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得手段と、

該取得手段によって取得される情報に応じて前記記憶手段によって記憶されたプログラムを起動し、前記所定のウインドウの表示制御を実行する制御手段とを具備することを特徴とする情報制御装置。

【請求項 9】 前記記憶手段は、異なる複数のアクションを動作させるプログラムを記憶しており、前記制御手段は、表示制御が行なわれているプログラムが存在するときに前記取得手段によって前記カメラの撮像範囲に変化が生じたことが検出された場合、該起動中のアクションの種類に応じてそのウインドウの表示を終了させるかもしくは継続させるかを判断して制御を行なうことを特徴とする請求項 8 に記載の情報制御装置。

【請求項 10】 前記記憶手段は、前記カメラの所定の撮像範囲に対応する文字情報の表示を行なうウインドウの表示制御のアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 8 に記載の情報制御装置。

【請求項 11】 前記記憶手段は、プリンタの設定又は操作を行なうためのウインドウの表示制御のアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 8 に記載の情報制御装置。

【請求項 12】 前記記憶手段は、電子メールの送信を行なうためのウインドウの表示制御のアクションを動作させるプログラムを記憶することを特徴とする請求項 8 に記載の情報制御装置。

【請求項 13】 カメラの撮像範囲を制御するための情報制御方法であって、

所定のアクションを起動させるプログラムを記憶する記憶工程と、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得工程と、

該取得工程において取得される情報に応じて前記記憶工程において記憶されたプログラムを起動する制御工程とを具備することを特徴とする情報制御方法。

【請求項 14】 カメラによって撮像された画像を表示する表示工程を有する情報制御方法であって、

前記表示工程において表示される画像とともに所定のウインドウを表示するアクションを動作させるプログラムを記憶する記憶工程と、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得工程と、

該取得工程において取得される情報に応じて前記記憶工程において記憶されたプログラムを起動し、前記所定のウインドウの表示制御を実行する制御工程とを具備することを特徴とする情報制御方法。

【請求項 15】 カメラの撮像範囲を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムが、

所定のアクションを起動させるプログラムを記憶する記憶工程のコードと、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得工程のコードと、

該取得工程において取得される情報に応じて前記記憶工程において記憶されたプログラ

ムを起動する制御工程のコードとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 1 6】 カメラによって撮像された画像を表示する表示工程のコードを有する制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムが、

前記表示工程において表示される画像とともに所定のウインドウを表示するアクションを動作させるプログラムを記憶する記憶工程のコードと、

前記カメラの現在の撮像範囲に関する情報を取得する取得工程のコードと、

該取得工程において取得される情報に応じて前記記憶工程において記憶されたプログラムを起動し、前記所定のウインドウの表示制御を実行する制御工程のコードとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 1 7】 カメラからの映像を撮り込み配送する配送手段と前記カメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御するためのカメラ制御手段とを備えるカメラサーバからの映像を表示する表示手段と前記カメラを遠隔から制御する信号を前記カメラサーバに送る遠隔制御手段とを備えたカメラクライアント装置において、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶手段と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶手段の記憶内容とを比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動手段とを具備することを特徴とするカメラクライアント装置。

【請求項 1 8】 カメラからの映像を撮り込み配送する配送手段と前記カメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御するためのカメラ制御手段とを備えるカメラサーバからの映像を表示する表示手段と前記カメラを遠隔から制御する信号を前記カメラサーバに送る遠隔制御手段とを備えたカメラクライアント装置のカメラ制御方法であって、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくための記憶工程と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程で記憶された記憶内容とを比較する比較工程と、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動工程とを具備することを特徴とするカメラクライアント装置のカメラ制御方法。

【請求項 1 9】 カメラからの映像を撮り込み配送する配送手段と前記カメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御するためのカメラ制御手段とを備えるカメラサーバからの映像を表示する表示手段と前記カメラを遠隔から制御する信号を前記カメラサーバに送る遠隔制御手段とを備えたカメラクライアント装置のカメラを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムが、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくための記憶工程のコードと、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程で記憶された記憶内容とを比較する比較工程のコードと、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動工程のコードとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 2 0】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置であって、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶手段と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶手段の記憶内容とを比較する比較手

段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動手段とを具備することを特徴とするカメラサーバ装置。

【請求項 2 1】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置であって、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶手段と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶手段の記憶内容とを比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動するためのプログラムを前記カメラクライアント装置に出力する出力手段とを備えることを特徴とするカメラサーバ装置。

【請求項 2 2】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置のカメラ制御方法であって、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶工程と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程での記憶内容とを比較する比較工程と、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動工程とを具備することを特徴とするカメラサーバ装置のカメラ制御方法。

【請求項 2 3】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置のカメラ制御方法であって、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶工程と、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程での記憶内容とを比較する比較工程と、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動するためのプログラムを前記カメラクライアント装置に出力する出力工程とを備えることを特徴とするカメラサーバ装置のカメラ制御方法。

【請求項 2 4】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置のカメラを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムが、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶工程のコードと、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程での記憶内容とを比較する比較工程のコードと、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動する起動工程のコードとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 2 5】 カメラの映像を表示する表示手段とカメラの少なくともパン、チルト、ズームのうちいずれか 1 つを制御する制御信号を出力する出力手段とを備えるカメラクライアント装置から、前記出力された制御信号に基づいて前記カメラを制御する制御手段と前記カメラからの映像を撮り込み前記カメラクライアント装置に配送する配送手段とを備えるカメラサーバ装置のカメラを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムが、

前記カメラの撮像範囲とそれに対応するアクションの内容を記憶しておくためのアクション記憶工程のコードと、

前記カメラの現在の撮像範囲と前記アクション記憶工程での記憶内容とを比較する比較工程のコードと、

前記比較工程での比較結果に基づいて、前記カメラの撮像範囲に対応するアクションを起動するためのプログラムを前記カメラクライアント装置に出力する出力工程のコードとを備えることを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 5 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 6 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 9】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 7 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 8 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 8 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】